

# 令和6年度 予算

～富田林版「こどもまんなか」社会実現へ～



令和6年度予算は、市長の所信表明における富田林版「こどもまんなか社会」の実現をはじめ、「市民とともにつくる。市民が幸せになる。市民本位の市政！」の実現に向けた予算編成としました。

問財政課（内線 335）

## 令和6年度施政方針（抜粋）

本年元旦に発生しました能登半島地震は、最大震度7を観測し、甚大な被害を及ぼしました。この度の地震で、お亡くなりになられた方に、哀悼の意を表するとともに、被災されたすべての方々に、心よりお見舞い申し上げます。そして、被災地の1日も早い復旧と復興をお祈りいたします。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナの感染症法上の位置づけが5類へと移行し、人と人、人と地域をつなぐ活動が再開されるなど、まちに賑わいと笑顔が戻る一方、急激な物価高騰等が市民生活全般に大きな影響を与える中で、これらの対策についても鋭意取り組んでまいりました。今年度においても、市民生活への支援に努めてまいります。

また、今日の社会情勢を象徴する大きな出来事として、金剛自動車株式会社のバス事業廃止が挙げられます。乗務員不足や乗客数の減少による経営悪化などの問題は、日本が直面する人口減少や少子高齢化の深刻な影響を痛感し、当たり前に提供されていたサービスが、今や当たり前ではなくなってきたことを目の当たりにいたしました。

昨年の所信表明でも申し上げましたように、本市はもとより日本全体で人口減少が続いています。しかしながら、「成熟社会」また「定常型社会」といわれる時代を迎えた今日、私たちは、決して後ろ向きになるのではなく、逆に地域それぞれの多様な発展の可能性が高まった好機ととらえ、私たち自身や地域が持つ価値に改めて目を向け、その可能性を広げ、他の地域には無い多様で新たな価値を生み出していくことで、富田林の持続的発展と人々の幸福が実現できるものと考えております。

私たちのまち・富田林には、そのような価値と可能性があふれています。高度経済成長の時代を含め、かつての時代の「成功体験」によらない新たな時代におけるまちづくりとして、私は、富田林の人と地域が持つ多様な価値と可能性、その魅力を更にバージョンアップすることで、富田林だからこそ実現できる豊かな未来を、皆様とともに力強く創造していきたいと思っております。

まちは、市民と行政の協働による創造物です。富田林市は、もっともっと良いまちになります。市民の皆様とともに力を合わせ、「人とまちがにぎわい、こどもたちをはじめすべての市民の笑顔があふれる、麗しの富田林」を創っていくために、一つ、ひとつ、未来に向かって、今後とも全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げまして、私の令和6年度施政方針とさせていただきます。

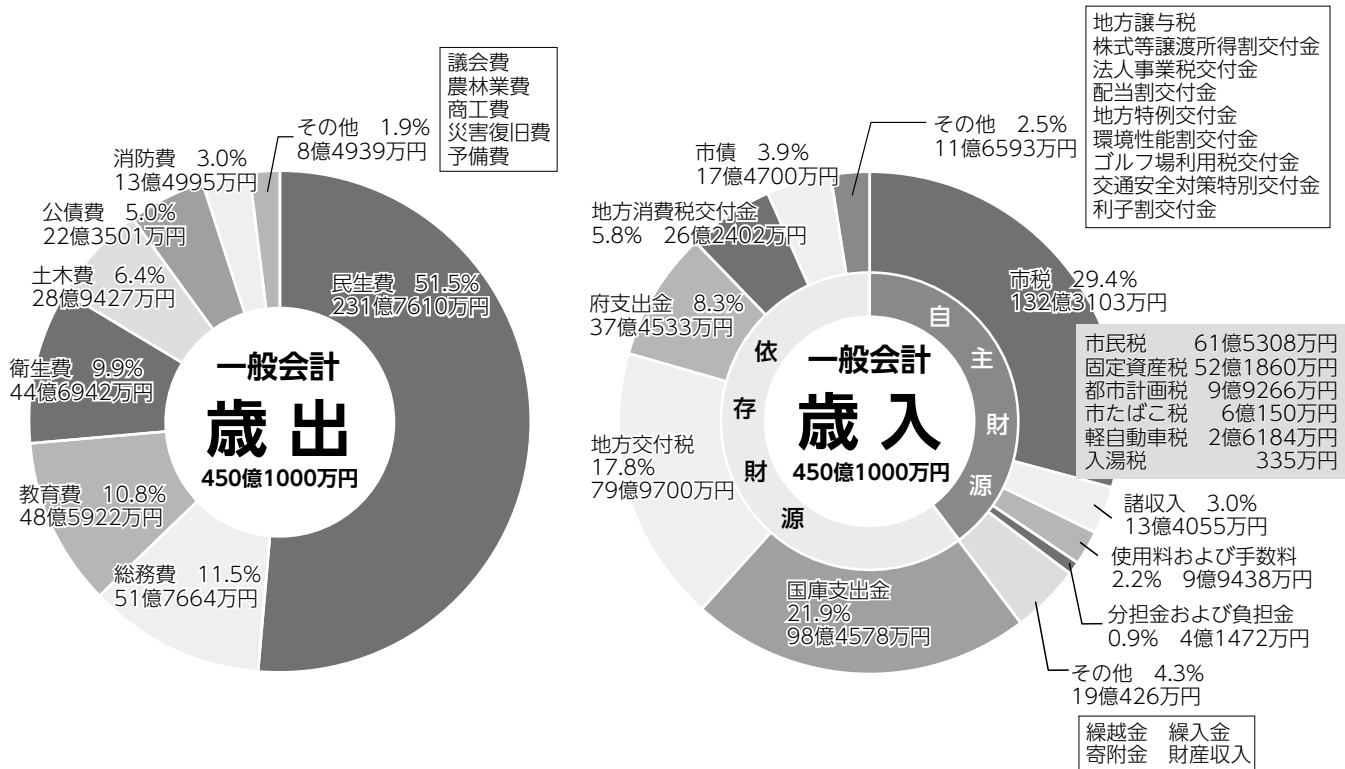
富田林市長 吉村 善美



※施政方針の全文は、市ウェブサイト（市長の部屋のページ）でご覧いただけます。



一般会計 450 億 1000 万円  
特別会計 276 億 1340 万円  
公営企業会計 89 億 9981 万円  
総額 816 億 2321 万円



■市民一人あたりに計算すると

令和6年度の一般会計予算を、令和5年12月31日現在の住民基本台帳人口に基づき、市民1人当たりの額に換算すると下表のとおりになります(目的別の額)。

|                 |                |                   |                |
|-----------------|----------------|-------------------|----------------|
| 民生費<br>215,909円 | 衛生費<br>41,637円 | 教育費<br>45,269円    | 総務費<br>48,226円 |
| 土木費<br>26,963円  | 公債費<br>20,821円 | 消防費<br>12,576円    | 議会費<br>2,990円  |
| 農林業費<br>2,602円  | 商工費<br>1,763円  | 災害復旧費・予備費<br>558円 | 合計<br>419,314円 |

■会計別予算額

| 区分     |               | 令和6年度予算額   | 昨年度比    |
|--------|---------------|------------|---------|
| 一般会計   |               | 450億1000万円 | 2.56%   |
| 特別会計   | 財産区           | 1億2619万円   | △59.43% |
|        | 国民健康保険事業      | 125億1871万円 | △1.04%  |
|        | 介護保険事業        | 123億5301万円 | △0.84%  |
|        | 後期高齢者医療事業     | 24億2498万円  | 10.46%  |
|        | 南河内広域行政共同処理事業 | 1億9051万円   | 27.55%  |
|        | 計             | 276億1340万円 | △0.54%  |
| 公営企業会計 | 水道事業          | 39億5413万円  | △0.33%  |
|        | 下水道事業         | 50億4568万円  | △1.40%  |
|        | 計             | 89億9981万円  | △0.94%  |

**用語チェック！**

**民生費：**高齢者福祉、障がい者福祉、生活保護、保育・子育てなどに使うお金

**衛生費：**保健指導や予防接種、ごみの収集・処分などに使うお金

**公債費：**市の借金である市債を返済するために使うお金

**土木費：**道路や橋梁の維持・整備、公園の運営・整備などに使うお金

**自主財源：**市が自主的に収入できる財源など

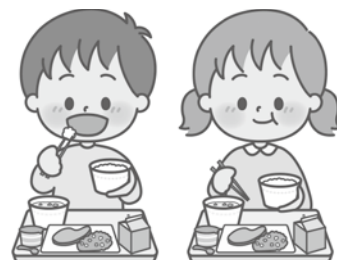
**依存財源：**国や府から交付される財源など

# 主な実施事業

## ①すべてのこどもを、みんなで応援するまちづくり

### 小・中学校給食の無償化（小学校：1学期のみ、中学校：20食分） 8891万円

物価高騰対応重点支援交付金を活用し、小学校給食費を1学期の間、中学校給食費を20食分無償化します（6月から10月に実施する給食20食分）。



### 小・中学校、幼稚園、保育所等の給食材料費の物価高騰分を支援 3507万円

物価高騰対応重点支援交付金を活用し、物価高騰による給食材料費の上昇分を支援し、保護者の負担増を抑えます。

### こども誰でも通園制度の試行実施 800万円

保育所などを利用していない0歳6カ月～3歳未満の未就園児を定期的にお預かりする制度を試行的に実施します。



### こどもまんなか推進事業の実施 1019万円

富田林版「こどもまんなか社会」の実現に向け、社会全体でこどもの権利を理解・尊重し、こどもの最善の利益を図りながら、すべてのこどもたちの健やかな成長を保障するため、「(仮称) 富田林市こどもの権利条例」の制定に向けた各種取り組みを実施します。

富田林市  
こども  
まんなか

## ②すべての市民の暮らしを支える住民福祉の増進

### 地域公共交通（4市町村コミバス）の運行 1億5612万円

金剛自動車株式会社のバス事業に替わり、令和5年12月より新たに開始した地域公共交通（4市町村コミバス）の運行などを、引き続き実施します。



### 重度障がい者などの就労に必要な介助費用を補助 720万円

就労の困難な重度障がい者などが就労時に必要とするヘルパー支援の費用を助成することで、障がい者の社会参加を促進する制度を創設します。

### 外国人市民相談窓口の開設 1105万円

4月1日(月)にオープンする <sup>とんぼる</sup>TONPAL（多文化共生・人権プラザ）内に、外国人市民を対象とした多言語対応の相談窓口を開設します。



# 令和 6 年度

## ③人とまちが賑<sup>にぎ</sup>わい、地域の魅力と可能性を開くまちおこし・地域おこしを推進

### 多言語ガイド付き観光デジタルコンテンツの整備、観光ツアープランの策定 1983万円

2025大阪・関西万博を見据え、観光客の受け入れ環境をデジタルで整備し、既存観光資源に食・体験などの新たなコンテンツを加えてパッケージ化したツアーを策定します。また、市内観光スポットを巡るデジタルスタンプラリーを開催します。



### 「とんだばやし万博」の開催 148万円

第3期若者会議提案の「とんだばやし万博」を開催し、2025大阪・関西万博の機運醸成を図るとともに、万博を契機とした地域活性化につなげます。



©Expo 2025

## ④行財政改革・市役所改革の継続と市民サービス向上の両立を追求

### マイナンバーカードを活用した本人確認・電子認証サービスの構築 63万円

これまで身分証による本人確認が必要だった行政手続きについて、オンラインで申請できる仕組みを構築し、「行かなくてもいい窓口」の実現に取り組みます。



### 水道基本料金の2カ月減免 7898万円

物価高騰対応重点支援交付金を活用し、物価高騰などに対する支援として、市民および市内事業者などの令和6年4月～5月検針分の水道料金（基本料金）を減免します。

## 他にもさまざまな施策に取り組みます

- |                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>①</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・スマートフォン向け子育て支援アプリの導入</li><li>・小学校水泳授業の民間委託をモデル実施</li><li>・（仮称）こども・子育てプラザの基本計画の策定</li><li>・見守りおむつ定期便事業</li></ul>            | <ul style="list-style-type: none"><li>・学校給食での南河内産お米の使用量を増やす</li><li>・全市立中学校に防犯カメラを設置</li><li>・こどもまんなか夏休みイベントの実施</li><li>・新たに5歳児健診を実施</li></ul>                                                |
| <b>②</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・増進型地域福祉を引き続き推進</li><li>・犯罪被害者などへの支援制度の創設</li><li>・市設置型防犯カメラの更新</li><li>・認知症の症状・進行に合わせた医療・介護サービスをまとめた「認知症ケアパス」の作成</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・レディース検診の日曜日開催やがんパック検診の実施</li><li>・防災アプリ、一斉同報サービスシステムの活用</li><li>・森林環境譲与税を活用した木製施設備品の購入</li><li>・米国ベスレヘム市との姉妹都市提携60周年記念事業</li><li>・新庁舎建設事業の実施</li></ul> |
| <b>③</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・富田林産なすPRイベント「なすティバル」の開催</li><li>・はたちのつどいイベント企画</li><li>・新たなミューラル（壁画）の制作</li></ul>                                          | <ul style="list-style-type: none"><li>・万博会場こども無料招待</li><li>・金剛駅周辺ウォークアブルビジョン案の策定・社会実験の実施</li></ul>                                                                                            |
| <b>④</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・テストのデジタル採点システムを導入</li><li>・元気なまちづくりモデル事業補助金の制度拡充</li><li>・ふるさと寄附金の獲得</li></ul>                                             | <ul style="list-style-type: none"><li>・新たな歳入確保のため公共施設へのネーミングライツ制度を導入</li><li>・市営住宅への指定管理者制度を導入</li></ul>                                                                                      |